

科目名	精神保健福祉援助技術総論	
担当者	大津 敬 / OHTSU, Takashi	
科目情報	心理臨床<医療臨床> / 選択 / 前期 / 講義 / 2単位 / 3年次	
科目概要	授業内容	精神障害者の障害特性について学び、生活支援のための基本的視点、必要とされる技術を学び理解を深める。又、精神保健福祉士が行うソーシャルワークの目的や価値について基本的な視点を学習する。講義形式を基本としながら演習・ビデオ学習等取り入れる
	到達目標	精神障害者を中心とした社会福祉サービスと援助活動について理解する。ソーシャルワーカーは精神障害のある人の生活にどのように関わるべきか、基本となる「価値」を踏まえた上で精神保健福祉領域における専門的援助技術の体系について理解する。
授業計画	(1) オリエンテーション・精神保健福祉とは何か (2) 精神障害（者）の理解（統合失調症） (3) 精神障害（者）の理解（うつ・アルコール） (4) わが国の精神保健福祉の変遷① (5) わが国の精神保健福祉の変遷② (6) 専門的援助技術の体系 (7) 精神保健福祉活動の目的と価値・倫理 (8) 精神保健福祉活動の方法と過程 (9) 精神保健福祉援助技術の実際① (10) 精神保健福祉援助技術の実際② (11) 精神保健福祉援助技術の視点（関係作りの要素） (12) 精神保健福祉援助技術の視点（自己を活用する技術） (13) 精神保健福祉援助技術の視点（医学モデルと社会モデル） (14) 精神障害者の地域生活支援 (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	・「参考文献」を前もって読んでおくことが望ましい。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・毎回の授業の内容について考察し、その意義を明確にする。
使用教材・参考文献	【教】教科書は特に指定しない。必要に応じて講義時にプリントを配布する。 【参】改訂第3版 精神保健福祉援助技術総論 へるす出版 ISBN4-89269-525-4 ケースワークの原則 -援助関係を形成する技法- 誠信書房 ISBN4-414-60404-4	
成績評価方法と基準	<基準>精神障害の障害特性や福祉援助における対人サービスの視点を理解できている者は合格とする。 <方法>試験70%、受講態度30%で総合的に判断する。	
備考		